

校 訓

自 立



校名が「のじぎく養護学校」で、幼児児童生徒が県下全域から入学してきたことから、県花である【のじぎく】をテーマに校章とした。幼児児童生徒が、隣接する「のじぎく療育センター」で受けた治療と訓練によって、自分のもっている力を発揮し、なお本校の校訓「自立」の精神のもと、のびのびと力強く育ちゆくことを願い、のじぎくの葉の豊かな繁茂にイメージを借りた。だれからも愛され、いつまでも仲良く子どもと先生、子ども同士のつながりを保つという意味から、養護学校の「養」の字をのじぎくの葉で丸く囲んだ。葉が外向きになっている部分は、社会参加を意味し、内側にある部分は共に助け合っていく姿を表している。真理を求め、価値を創造し、英知と情熱をもって、個人の幸福と社会への貢献の意味をこめて、上部をあげた。

「兵庫県立盲学校、兵庫県立聾学校、及び兵庫県立養護学校の設置及び管理に関する条例」等の一部改正のため、平成19年4月1日より、兵庫県立のじぎく特別支援学校に校名を変更したが、校章、校歌ともに変更せずに使用している。

「のじぎく療育センター」は、平成20年3月31日をもって、「総合リハビリテーションセンター」に機能移転した。そのため、本校は平成20年4月1日より、センター入院生に代わり、自宅及び施設等からの通学生のための特別支援学校となった。

また、平成23年3月4日には、「のじぎく療育センター」の跡地に新校舎が完成し、平成23年4月1日より使用を開始している。